施策評価シート

施策等名称	居住環境の向上と適正な管理	体系番号	0501011001
		主管課	都市計画課

1 施策基本情報

現状と課題	・公営住宅管理戸数337戸のうち144戸（約43%）が耐用年限を超過しており、老朽化が激しく入居者の安全性の維持が困難な状況です。
めざす将来像（あるべき姿、基本的な考え方）	・めざす姿：住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子育て世帯など）の安心・安全で快適な暮らしが確保されている状態 ・そのために市営住宅の長寿命化、居住環境の質向上のための的確な日常の維持修繕、中長期的な計画的改善を行います。

施策指標

	指標名称	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
①	浴室改修	市営住宅の中で浴室改修が必要な274戸のうち改修済みの戸数	24.00	125.00 274.00
②	外壁塗装	市営住宅の中で外壁塗装が必要な44棟のうち、塗装が終了した棟数	4.00	17.00 44.00
③				

施策の体系

施策の柱1

名称	居住環境の改善	主管課	都市計画課
詳細	入浴設備が設置されていない住宅の解消など住宅の質の向上を図り、適正な維持管理を行うことにより、「住める」から「住みたくなる」住宅を目指します。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	浴室改修	市営住宅の中で浴室改修が必要な274戸のうち改修済みの戸数	24.00	125.00 274.00
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	市営住宅改善事業	実施
2	市営住宅維持管理業務	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱2

名称	市営住宅ストックの長寿命化	主管課	都市計画課
詳細	長期的に活用するストックについては、長寿命化を図るための計画的な修繕を実施しつつ更新コストの削減を図ります。廃止とするストックについては、修繕を必要最小限に抑え、居住環境の整った団地住戸への集約・移転を検討します。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	外壁塗装	市営住宅の中で外壁塗装が必要な44棟のうち、塗装が終了した棟数	4.00	17.00 44.00
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	市営住宅改善事業	実施
2	市営住宅維持管理業務	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱3

名称		主管課	
詳細			

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策等名称	居住環境の向上と適正な管理	体系番号	0501011001
		主管課	都市計画課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 ／ 達成率(実績値÷目標値)				
施策	浴室改修	24.00	50.00				
1		125.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等 2018年度	小坂団地CD棟26戸浴室改修工事完了のため。						
変動要因等 2019年度							
変動要因等 2020年度							
変動要因等 2021年度							
変動要因等 2022年度							
施策	外壁塗装	4.00	0.00				
2		17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等 2018年度							
変動要因等 2019年度	ひばりヶ丘団地B棟外壁塗装工事完了						
変動要因等 2020年度	ひばりヶ丘団地A棟外壁塗装工事着手						
変動要因等 2021年度							
変動要因等 2022年度							
柱1	浴室改修	24.00	50.00				
1		125.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等 2018年度	小坂団地CD棟26戸浴室改修工事完了のため。						
変動要因等 2019年度							
変動要因等 2020年度							
変動要因等 2021年度							
変動要因等 2022年度							
柱2	外壁塗装	4.00	0.00				
1		17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等 2018年度							
変動要因等 2019年度							
変動要因等 2020年度							
変動要因等 2021年度							
変動要因等 2022年度							
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等 2018年度							
変動要因等 2019年度							
変動要因等 2020年度							
変動要因等 2021年度							
変動要因等 2022年度							
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等 2018年度							
変動要因等 2019年度							
変動要因等 2020年度							
変動要因等 2021年度							
変動要因等 2022年度							

施策等名称	居住環境の向上と適正な管理	体系番号	0501011001
		主管課	都市計画課

3　評価・改革改善　　（単位：円）

項目			2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）	
評価	投資額	事業費(円)	46,705,280		23,515,406	0.50	40,457,000	1.72				
		うち一財(円)	0		0	######	0	######				
		増減理由（一般財源前年度比±10%以上の場合に記載）										
	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調							
	総合評価	主な取組内容や成果	・小坂団地CD棟浴室改修工事（ユニットバス化） ・みどりヶ丘玄関ドア取替工事 →いずれも居住性が向上し、住民の皆さんに喜んでいただいた。		・ひばりヶ丘B棟外壁改修実施 ・みどりヶ丘玄関ドア取替工事 →いずれも居住性が向上し、住民の皆さんに喜んでいただいた。							
		課題	・ひばりヶ丘A・B棟、サンコーポラス旭ヶ丘の外壁改修 ・サンコーポラス旭ヶ丘は市単独住宅で国庫補助対象外のため、財源確保が課題。		・ひばりヶ丘A棟、サンコーポラス旭ヶ丘の外壁改修 ・サンコーポラス旭ヶ丘は市単独住宅で国庫補助対象外のため、財源確保が課題。							
改革・改善	改革・改善内容		・ひばりヶ丘A・B棟について国庫補助、起債により外壁改修着手。		・ひばりヶ丘B棟について国庫補助、起債により外壁改修着手。							
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	2		2							
		重点事務事業	1		1							
		理由	居住環境の質向上を図るにも、躯体が痛んでしまってはどうしようもない。そのために外壁改修は重要。		居住環境の質向上を図るにも、躯体が痛んでしまってはどうしようもない。そのために外壁改修は重要。							

作成担当者	矢嶋浩行	土岐篤広			
最終評価責任者	篠原尚一	篠原尚一			
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月7日			